

GLP-1 時代の次なる一手 天然GLP-1ブースター 「メタボレード®」が ダイエット市場を変える!?

いま、世界のダイエット市場を席巻しているのがGLP-1 医薬品。食欲を強力に抑え、短期間で体重を落とす。その即効性から、アメリカでは爆発的に普及し市場規模はすでに 8 兆円を超え、2030 年には 23 兆円規模に成長するとの予測も。しかし、その裏側では次のような問題も浮上してきている。

GLP-1 医薬品の光と影 アメリカでは社会問題化

GLP-1 は本来、2 型糖尿病の治療を目的として開発された医薬品であり、血糖コントロールを必要とする患者のために使用されてきた治療薬である。

近年では、その食欲抑制作用による体重減少効果が注目が集まり、アメリカではダイエット目的での活用が急速に広がった。その高い体重減少効果から「GLP-1 痩身」という概念は、すでにダイエット市場における新たなスタンダードになりつつある。

一方で、GLP-1 作動薬は疾患治療を目的として設計された医薬品である以上、副作用のリスクが伴うことは避けられない。体重管理を目的として使用される場合においても、医師の管理のもとで適切なリスク管理が求められる。実際に、マンジャロやリベルサスなどの GLP-1 作動薬は、食欲を急激に抑制し短期間で体重減少をもたらすことが知られている一方で、以下のような副作用の報告も挙げられている。

GLP-1 作動薬の副作用

- 吐き気、嘔吐、胃部不快感、胃排出遅延
- 急激な顔面脂肪減少による、いわゆる「オーゼンピックフェイス」
- 体重減少の過程における筋肉量の低下

GLP-1 は小腸から分泌されるホルモンであり、食事に応じて分泌されることで脳へ満腹シグナルを伝える役割を担っている。

GLP-1 作動薬は、このホルモンの働きを薬の力で補い、脳に「満腹」の信号を送ることで食欲抑制を図る治療薬である。

る。

食欲が抑えられることで体重減少が期待できる一方、体に必要なエネルギーが十分に補えない状態が続くと、筋肉量の低下や代謝機能の変化につながる可能性も指摘されている。特に女性にとつて筋肉は、代謝だけでなく若々しさを保つ土台で

世界が評価し始めた ポストGLP-1 「メタボレード®」

こうした背景から、いま世界ではGLP-1 に代わるダイエット素材が求められ急速に評価を高めている原料がある。それがスペインで開発された特許取得素材メタボレード® (スペイン特許P201731147) である。

メタボレード® は、レモンバーベナおよびハイビスカス由来のポリフェノールを含有する植物由来の原料。外部からホルモン様物質を補充するのではなく、体内に本来備わっているGLP-1 分泌機能に働きかけることを目的としている。

GLP-1 に代わる ダイエット素材として医師が推奨

アメリカではいま、GLP-1 薬の代わるダイエット素材としてメタボレード® を医師が推奨する動きが広がっている。これは単なるブームではなく、医療の現場が、

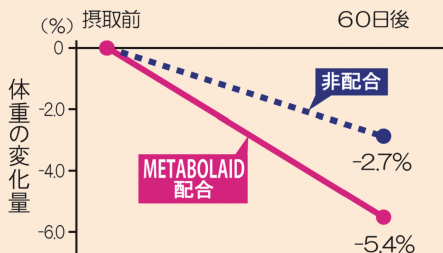
【持続可能なダイエット】

AMPK (代謝調節酵素) の活性化サポート
AMPK は「代謝の司令塔」と呼ばれる酵素
通常は運動時やエネルギー不足時に活性化
現代人は ●栄養過多 ●運動不足 により AMPK が活性化しにくい状態にあるとされる
AMPK が活性化すると
●脂質代謝の促進
●糖取り込み能の向上
●ミトコンドリア機能の維持
●筋肉量低下の抑制
といった代謝バランスの調整が期待される
メタボレード®は、その中心にある素材として、いま世界で注目されている。そして、その流れは必ず日本にもやってくる。
GLP-1 は巨大な市場を作った。しかし次に来るのは、マンジャロ等に代わる「自ナチュラル製法」であることは間違いない。痩せる。でも、老けない。落とす。でも、崩れない。それがこれからの健康美の基準。
を求め始めた証だろう。ダイエットは、単なる体重管理ではない。病気を予防する最大の特効薬でもあるのだ。
さらに老けないために必要なのは、強制的に体重を減らすことではなく、体を正常な状態に戻すこと。メタボレード®は、そのアプローチを形にした素材と言えるだろう。

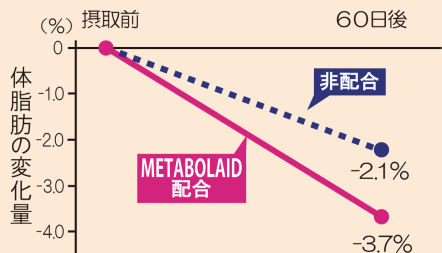
臨床試験による証明

被験者：36～69歳（女性40名）METABOLAID 1日500mg・60日間・朝食の20～30分前に摂取
試験機関：スペイン ミゲル・エルナンデス・デ・エルチェ大学
検査方法：二重盲検、対象群、プラセボ群とともに等カロリー摂取

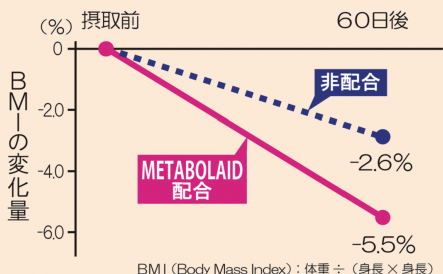
体重減少



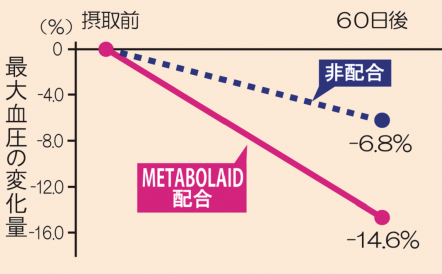
体脂肪減少



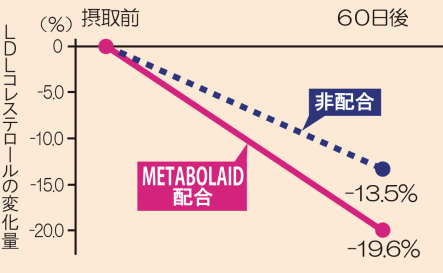
BMI



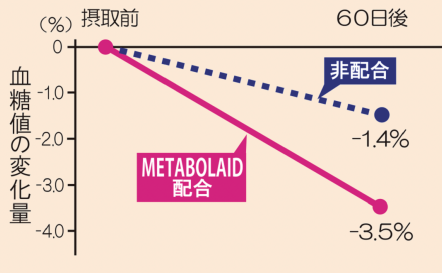
血圧低下



LDL コレステロール



血糖値

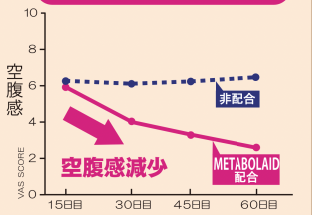


- 空腹感を抑え満腹感を得られることを確認
- 甘い物等に対する食欲が減少することを確認
- 37～75歳の女性47名にMETABOLAID 配合カプセル (METABOLAID: 1日500mg) と偽薬 (プラセボ) を60日間服用してもらい、15日目、30日目、45日目に食欲に関する主観的なアンケート項目を視覚スケール (VAS スコア) で回答してもらいました。結果、プラセボ群と比較してMETABOLAID 摂取群は、甘い物、脂肪分の多い食べ物に対する食欲が減り、満腹感を得られていることが確認されました。

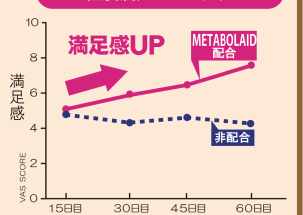
試験機関：ミゲル・エルナンデス・デ・エルチェ大学

検査方法：二重盲検、対照群、プラセボ群とともに等カロリー摂取

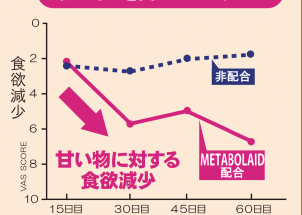
おなかすいていますか？



どの程度満足していますか？



甘いものを食べたいですか？



お問い合わせ先：株式会社プロラボホールディングス (0120-954-604)

代謝機能の維持をサポートし、体内環境を整えることで長期的な体重管理に寄与

プロラボホールディングスが研究スタート
美容健康産業にとって「ダイエットの黒船」
メタボレード®はGLP-1 活性化栄養素であって、医薬品ではない。天然ハーブ由来の機能性原料であり、外からホルモンを補充するのではなく、体内の生理機能を整えていく。GLP-1 作動薬のよる強制的に食欲を抑える点も見逃せない。
この価値をサロンの治療などに提供できるといふ事実は、極めて大きい。いま日本でも「GLP-1 痩せ薬」という概念は確実に一般化しつつある。ダイエット市場のキーワードがGLP-1 になることは避けられない潮流である。
そのとき、美容健康従事者が問われるのは何か。瘦身技術だけで勝負する時代ではない。「確実に痩せられる身体をつくるインナー素材」を持っているかどうかである。
ここで注目すべき動きがある。インナービューティー分野において国内トップクラスの実績を誇るプロラボホールディングスが、ダイエットサプリメント研究に本格着手した。製品としての完成も間近とされる。
これは単なる新商品の投入ではない「科学的根拠」「ブランド力」そして「サロンの流通」という確立されたチャネル。
この三要素が揃ったとき、日本のダイエット市場は確実に転換期を迎える。メタボレード®をサ
ロンが扱える。それは、医薬品に依存しないGLP-1 という選択肢を美容業界が正式に手にするということを意味する。
ダイエットの歴史がまた一つ動く。その転換点がいま静かに近づいている。